

平成 26 年 10 月

「月山クリーン登山&外来植物から守ろう Part3」実施報告書

環境省羽黒自然保護官事務所
月山ビジターセンター運営協議会

磐梯朝日国立公園 出羽三山地域の月山は、参拝や登山、観光を目的として多くの方が訪れています。しかし、近年、山頂周辺や登山道沿いなどに本来生育していなかった外来植物や低地に生える植物の繁茂が確認されています。

そのため、これらの植物の除去作業ならびにクリーン活動を行うことによって、月山本来の植生を保全し、月山のすばらしい自然を理解いただくための行事を、平成 26 年 6 月「月山を外来植物から守ろう Part1」、「同 Part2」に続いて開催しました。

1 主催、後援等

主催：環境省東北地方環境事務所、月山ビジターセンター運営協議会
協力：休暇村羽黒、山形県自然公園保全整備促進協議会
後援：鶴岡市、西川町、庄内町

2 日程等

平成 26 年 9 月 20 日（土）～9 月 21 日（日）の 1 泊 2 日（月山頂上小屋宿泊）
天候：9/20 曇り後晴れ、9/21 晴れ

3 場所

磐梯朝日国立公園 月山 8 合目（羽黒口）～月山山頂～姥沢口
（山形県鶴岡市羽黒町、東田川郡庄内町、西村山郡西川町）

4 参加者

一般参加者：19 名、羽黒地区パークボランティア 2 名、月山ビジターセンター：2 名、
環境省羽黒自然保護官事務所：2 名 **合計 26 名**

5 クリーン活動

登下山中に登山道のゴミ拾いを行い、総量 2.3 kg のゴミを回収。

6 外来植物除去作業

作業日時：9 月 20 日 13:25～15:30
作業場所：鍛冶小屋跡地、頂上公衆トイレ前
対象種：セイヨウタンポポ、オオバコ
作業方法：草取り器具を用いて、手作業で除去。セイヨウタンポポは全草（根を含む）、
オオバコは生長点が地下 1 cm 内にあるため地下 1 cm より上部を除去。

除去量：41.7 kg（生重量、採取後は袋に詰めて持ち帰り、適切に処理）

※自然公園法に基づく植物採取許可、土地所有者の許可を得て実施

※文化財保護法第125条1項 維持の措置として実施

7 記録写真

	
開会式（月山ビジターセンター）	試験的に設置している外来植物対策マット （羽黒登山口）
	
クリーン活動の様子	
	
行程中の様子 紅葉を楽しみながらの登山となった。	外来植物除去作業地遠景 （鍛冶小屋跡地）



月山を外来植物から守ろう Part2 (6/26)
除去作業終了後の様子 (鍛冶小屋跡地)



除去作業前の様子
セイヨウタンポポが再生。前回作業時に取り損ねた根から再生したものと思われる。
オオバコは、個体数の減少が顕著であった。
(鍛冶小屋跡地)



除去作業前の様子
(右上写真同箇所の拡大)



外来植物除去作業前のレクチャー



除去作業の様子 (鍛冶小屋跡地)



除去作業の様子 (鍛冶小屋跡地)



除去作業の様子（頂上公衆トイレ前）



除去作業終了後の様子（鍛冶小屋跡地）



登山利用者へ向けた掲示
登山利用者へ高山植物採取の誤解を招かないよう「外来植物除去作業中」・「月山の外来植物」に関するパウチを掲示し、作業を実施。



多くの登山利用者が関心を寄せ
普及啓発を図ることができた。



夕陽を楽しむ参加者



集合写真

■今後に向けて

今回の行事では、外来植物であるセイヨウタンポポ・オオバコを除去対象種として、6月の「月山を外来植物から守ろう Part1」・「Part2」に続き、鍛冶小屋跡地にて実施した。加えて、行程中には登山道沿いに落ちているゴミを拾い、月山の自然環境保全を図った。2日間共に晴天に恵まれ、参加者の皆さんはクリーン活動・外来植物除去活動のみならず、行事の目的でもある月山の自然や山小屋泊ならではの楽しみを満喫していただけたようであった。

参加者アンケート結果では、「Part1」・「Part2」に続いて、概ね好評の結果が得られた。外来植物除去作業の必要性・継続性を望むコメントが多く寄せられ、これまでの活動に続けて参加するリピーターの方もいた。しかしながら、参加者の中にも月山の外来種問題を知らない方が半数以上を占めるなど、より一層の普及啓発が望まれる。作業中には、作業地を通りかかる多くの登山者が足を止め、参加者やスタッフに質問するなど、一般登山者の関心が高いことも感じられた。今後は、普及啓発へ向けた掲示物の設置、外来植物対策マット敷設箇所への簡易看板の設置等、関係機関と連携を図り、周知をさらに図っていく必要がある。

鍛冶小屋跡地においては、これまでの除去活動の成果により、オオバコの個体数・生息面積の外見上の減少が確認された。一方で、セイヨウタンポポについては、前回作業時に取り損ねた根から再生したものと思われる個体が旺盛に繁茂していた。他事例によると、継続して駆除活動を行うことで、個体の大きさは徐々に小さくなる傾向との報告もある。当該作業地においては、礫が多く、地中奥深くまで根を伸ばす根の完全除去が困難であるが、今後も、根気強く活動を進めていく必要がある。

来年度以降についても、外来植物の生育状況に合わせて、外来植物除去行事を継続していく予定である。また、これまでの除去行事では、除去優先度の高い山頂周辺にて実施してきた。今後は、除去作業の効果を検証しつつ、多数の外来植物が確認されている8合目駐車場周辺、月山スキー場リフト上駅周辺等の除去作業の実施を検討していきたい。また、一般の方を対象とした行事での除去活動が困難な箇所（長距離に渡る登山道沿線、多数の外来植物が侵入し植物同定に熟知した者の同行が必要等）については、環境省グリーンワーカー事業による除去活動を平行して実施する予定である。引き続き、月山の自然環境保全に向け、一般の方の協力をいただきながら、関係諸団体と連携を図り、今後も除去活動を推進していきたい。